

道徳だより



こころのはな



「親子の手紙」について

石川県では、「親子の手紙」という取組を毎年行っています。大海小学校でも、すべてのご家庭で取り組んでいただいています。日頃、なかなか口にできない親子のそれぞれの思いを「短い手紙」に表現することで、互いの気持ちを理解することや家族の話し合いを大切にしようとする心を高めていただきたいと思います。家庭のあたたかさや家族の会話の大切さなどをもとにした、心のかよう手紙をお待ちしています。この機会に親から子どもへ、子どもから親へ、普段なら言えない日頃の思いを手紙に書いて伝え合ってみてはいかがでしょうか。ご協力よろしくお願いいたします。



学校でまとめて送りますので、用紙はそのまま、担任へ提出して下さい。**締め切り 6月27日(月)**

1年生は、初めての「親子の手紙」なので、昨年度のダイジェスト版を配布しました。また、昨年度の一年生の山下さん親子の手紙を掲載しますので、1年生の保護者の方は、ぜひ参考にされて下さい。

ママへ (山下 愛珠さん)
 いつもおいしいりょうりをつくってくれてありがとう。ママがつくるからあげは、かりかりでとってもジューシー！
 10こぐらいたべたいな。いつも大すきっていつてくれてありがとう。あずもママがだいすきだよ。



いつもこころあたたまるおてがみをありがとう。からあげ10こたべたいんだね。
 よしっ、がんばってたくさん作るぞ。たのしみにまわってね。ママこそ「だいすき！」とだきついてもらえて、さいこうにしあわせだよ。

